

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.39 2008年11月号

みなさんご自分の「適性」を考えたことはありますか？ 今の職業は自分にむいているのか、また、今就いている職業での地位は自分に合っているのかということです。

今の職業が自分にむいているのかということについては、以前、「毎日楽しく」でも書いたことがあります。すなわち、むいているかどうかを考える前に、自分の「天職」だと思って全身全霊を打ち込んでやる、ということでした。特に若い方たちの中には、せっかく就いた仕事を自分にむいていないと言ってすぐにやめてしまう方も多いようですが、これはほとんどの場合、適性があるのかないのかという判定もできていないままやめてしまっていることが多いようです。これについては、多くの有名な経営者の方たちが同様のことを言っています。

それでは、その職業における自分の地位が適性に合っているのかどうかという点についてはどうでしょう？ これについて、松下幸之助さんが次のようなお話をされています。ある会社の中堅幹部だった人に、別の会社の社長になってほしいという話があったそうです。まわりの人は友人の成功を喜び、引き受けろと勧めます。また本人も社会的な名誉や収入のことを考えて喜んで引き受けました。ところが、わずか2年ほどで会社の業績が悪くなり、社長をやめざるをえなくなってしまいました。松下さんは、この人は明らかに社長としての適性を持っておらず、ずっと中堅幹部でいたほうが本人にとって幸せであり、世のためであったかもしれないと言います。松下さんの見方は少々厳しい見方かもしれませんが、でも、人生における「成功」が毎日楽しく生きることであるとすれば、それが社会的名誉や高い収入が得られる地位であったとしても、自分の適性に合っていない地位に就いて毎日無理をするのは、確かに成功とは言えないかもしれません。創業者の場合は最初から社長ですから、従業員が増え、自分が社長でいるよりも会社を発展させてくれそうな人が出てきたときに、いさぎよくバトンタッチできるかということになるのでしょう。

ただ、そうはいっても、自分の適性を客観的に判断できるかどうかというのは、大変難しいですよ。他人の適性を判断するより、ずっと難しいと思います。みなさんはどう思われますか？

